

# 施策分析シート（平成22年度）

No1

<b>施策名</b>	子どもの健康づくり支援	<b>施策No</b>	03-04	<b>部課名</b>	健康部健康推進課		
<b>関連部課名</b>							
<b>行政評価事業体系</b>	<b>分野</b>	子育て教育都市[ ]					
	<b>政策</b>	子育てしやすいまちの形成[03]					
<b>目的</b>	妊娠期から就学前までの親子の健康保持・増進を目指し、乳幼児健診、各種健康講座・相談・訪問などの事業を通して、育児不安の解消と子育て支援を図る。						
<b>指標</b>	<b>施策の成果とする指標名</b>	<b>指標の推移</b>					<b>指標に関する説明</b>
		19年度	20年度	21年度	22年度	目標値 (28年度)	
	育児不安をもつ親の割合	21.4%	20.1%	19.8%		0.0%	乳幼児健診アンケートによる
	講座を通じて友人ができた人の割合	84.3%	81.0%	82.5%	100.0%	100.0%	母親学級のアンケートによる
	子育てグループ数	39団体	63団体	84団体		48団体	母親学級等を通じてグループ化された団体数
<b>現状と課題（指標分析）</b>	核家族化がより一層進む中、親の育児不安や出産・育児環境の悪化が懸念される。こうした傾向に対応し、より効果的な子育て支援策を引続き検討していく必要がある。						
<b>今後の方向性</b>	《今までの成果及び指標分析を踏まえて》  支援を必要とする親子を見極める役割を担う乳幼児健診や妊産婦・新生児訪問事業等の更なる充実を図るとともに、関係機関との連携により効果的に育児支援を行っていく。						

施策の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	次世代を担う子どもの健全な育成は、社会の持続的発展に欠かせない。この施策は、乳幼児期の親子の健康を保持、増進することで子どもの健全な育成の一端を担うものであることから優先度は極めて高い。

# 施策分析シート（平成22年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		20年度	21年度	前年度 設定	今年度 設定	
母親学級・両親学級	07-02-14	965	980	重点的に推進	重点的に推進	妊娠・出産・育児を安心して行うことができる環境を作るため欠かせない事業であり優先度は高い。
妊産婦健康診査	07-02-15	95,981	118,085	重点的に推進	重点的に推進	流産・早産、妊娠高血圧症候群等を予防し、健康な妊娠、出産を迎えるため欠かせない事業であるとともに、少子化対策の観点からも優先度は高い。
乳幼児健診(4か月児)	07-02-16	3,254	4,339	重点的に推進	重点的に推進	育児不安の解消や乳児の健全な育成のため欠かせない事業であり優先度は高い。
乳幼児健診(1歳6か月児)	07-02-17	4,944	4,953	推進	推進	幼児の健全な育成のため重要な事業である。
乳幼児健診(3歳児)	07-02-18	5,162	5,120	推進	推進	幼児の健全な育成のため重要な事業である。
乳幼児健診(6・9か月児)	07-02-19	17,093	19,045	継続	継続	幼児の健全な育成のため必要な事業である。
経過観察健診	07-02-20	1,530	1,470	継続	継続	経過観察の必要な乳幼児の早期療育に必要な事業である。
乳幼児(精密)健診	07-02-21	67	109	継続	継続	健診の結果、疾病や異常が疑われる乳幼児の診断、早期指導に必要な事業である。
妊産婦・新生児訪問	07-02-22	5,837	8,923	重点的に推進	重点的に推進	産後うつや育児不安への早期対応のため欠かせない事業であり優先度は高い。
子育てファミリー事業	07-02-23	1,852	1,950	重点的に推進	重点的に推進	離乳食に関する講義等により乳幼児の健全な発育を支援するための事業であり、優先度は高い。
すくすくサポート事業	07-02-24	1,453	1,414	重点的に推進	重点的に推進	育児困難のケースが増えてきており、虐待予防の視点からも事業の優先度は高い。
母子健康手帳交付費	07-02-25	1,345	1,298	推進	推進	乳幼児の健康管理のため重要な事業である。
歯科衛生相談室	07-02-29	1,109	1,109	推進	推進	乳幼児の口腔保健の向上のため重要な事業である。
合 計		140,592	168,795			